

つる草がキュービクル内に侵入

富山支店 保安課 清水 倫彦

川沿いにあるお客さまに月次点検（隔月点検）でお伺いしたときのことです。お客さまに挨拶をし、問診で異常が無いことを確認し、点検を始めました。お客さま設備である構内第一柱とキュービクルが真横に配置されており、まず構内第一柱へ行きました。現場に着いてみると、前回月次点検した時とは様子が変わっていました。

構内第一柱には、つる草が巻き付き、キュービクルの周りには雑草が生い茂っていたのです。点検前につる草とキュービクルの周りの雑草を除去し、キュービクルの扉を開けると、なんとキュービクルの中にまでつる草が侵入していました。その中の長いつる草は高圧負荷開閉器の近くまでできていました。そのつる草をよく見てみると、先のほうが焼けこげているように見えました。これは地絡事故につながる可能性があると思い、すぐさまお客さまに事情を説明し、早急に停電させていただきたいことを伝えました。

お客さまから了解を得てその日の夕方、作業が終わってから停電をさせていただき、つる草の除去をしました。やはり高圧負荷開閉器の近くまでできていたつる草は、焼けこげていました。さらに、他のところからも伸びてきている状態で、他の高圧部分にいつ触れてしまうか分からない状態でした。このつる草はキュービクル下部の通気孔から何本も侵入している状態でした。

お客さまに事情を話すと、すぐに対策をして欲しいとのことでしたので、編み目の細かい網を通気孔に張り、侵入口を小さくしました。そして、お客さまにお願いしてキュービクルの周りに除草剤を撒いていただきました。

2か月前の点検時では、草はそんなに気になるほど生えていなかったのですが、たった2か月の間で急成長することに驚きました。

今回の事例はキュービクルだけではなく、電気設備すべてのことに言えると思います。

キュービクルや電気設備の周辺は、常日頃からまめに雑草等を除去し、事故を起こさないよう管理していくことが大切だと思います。

〈協会からのお願い〉

キュービクル等の周辺を除草する際、中には絶対に入らないで下さい。